

キーワードを入力

ニュース



トップ

速報

写真

映像

雑誌

個人

ビジネス

特集

意識調査

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT・科学

ライフ

地域

北海道・東北 | 関東 | 信越・北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州・沖縄

恋人の聖地にハート 一里野温泉観光協、オブジェを設置

北國新聞社 2/8(水) 1:30配信



恋人の聖地を示すオブジェが設置される白山一里野公園＝白山市尾添

白山市の白山一里野温泉観光協会は、「恋人の聖地」の白山一里野公園を、カップル向けにリニューアルする。春以降、園内にハート形のオブジェと銘板を設置するほか、花壇も新設し、雰囲気彩りを添える。開湯40周年と、白山開山1300年の重なる今年、例年以上の観光客が白山麓を訪れることが見込まれる中、いにしえから恋人が集う「聖地」の存在感をアピールする。

オブジェは高さ25センチ、幅40センチ、奥行き20センチの作品で、高さ40センチの台座に置く。台座の中心に「恋人の聖地」と書かれた真ちゅう製の銘板をはめ込む。台座は白山市の石彫作家舟津秀一郎さん（52）が小松産の石を使って制作する。

白山一里野温泉周辺には奈良時代、男女が見合いをする「縁の谷」という場所があったとされる。この伝承を基に、同温泉地は2010年にNPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）の「恋人の聖地」に認定された。センターからは縦28センチ、横40センチの銘板が贈られたが、設置場所が定まらなかったため、観光客の目に触れることなく、保管され続けていた。

春以降の設置を前に、バレンタインデーの14日には、現地でオブジェと銘板のお披露目式が行われる。隣接する白山一里野温泉スキー場と連携し、恋人に関わるイベントを企画する構想もあり、担当の山崎太一郎副会長は「節目の重なりを追い風に聖地の発信力を強め、将来的には年間10組程度のカップルが結婚式を挙げるような場所になればうれしい」と話した。

北國新聞社

最終更新:2/8(水) 1:30